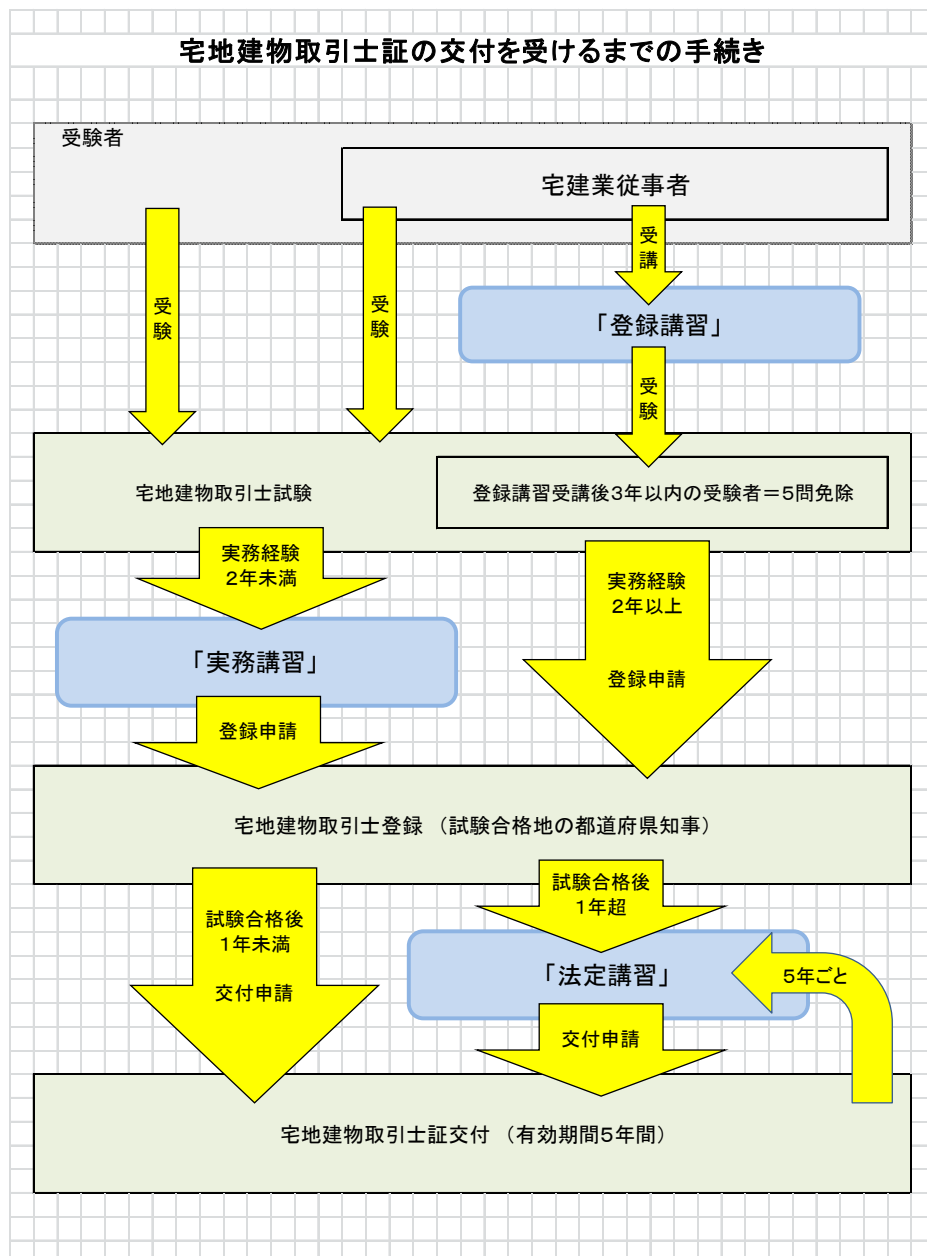


<2019 宅地建物取引士ガイダンス> レジюме

担当：山口 朝重

1. 宅地建物取引士とは？

- ①「宅地建物取引士」とは、どういったものであるか？
- ②不動産業界の将来性や必要性
- ③「宅地建物取引士」の資格を持つと何が有利なのか？
- ④どうしたら「宅地建物取引士」になれるのか？



2. 試験の概要（例年の概要）

（1）試験日程

～受験申込頃まで 登録講習（不動産業に従事している方のみ受講資格があります）
※登録講習については、国土交通省ホームページをご参照ください。

6月上旬～中旬 試験概要発表
(一般財団法人 不動産適正取引推進機構のホームページをチェック！)

7月上旬～下旬 試験案内配布（自分の住んでいるところの申込書をもらうこと！）
インターネットによる申込み（7月上旬～中旬）
郵送による申込み（7月上旬から下旬）

10月上旬 受験票が郵送で送られてきます。

10月第3日曜日 本試験

11月最終水曜日（又は12月第1水曜日） 合格発表

（2）受験資格：制限はナシ

（3）試験方法：4者択一のマークシート方式

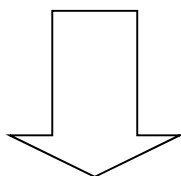
全50問（登録講習受講修了者は45問）

試験時間120分（登録講習受講修了者は110分）

(4) 試験科目

【試験実施機関側の7つの分類】

1. 土地の形質、地積、地目及び種別並びに建物の形質、構造及び種別に関すること。
2. 土地及び建物についての権利及び権利の変動に関する法令に関すること。
3. 土地及び建物についての法令上の制限に関すること。
4. 宅地及び建物についての税に関する法令に関すること。
5. 宅地及び建物の需給に関する法令及び実務に関すること。
6. 宅地及び建物の価格の評定に関すること。
7. 宅地建物取引業法及び同法の関係法令に関すること。



わかりやすく言うと・・・

【受験する立場での4つの分類】

1. 権利関係 (14問)
2. 宅建業法 (20問)
3. 法令上の制限 (8問)
4. 税・その他 (8問)

(5) 合格率（難易度）の推移

	申込者数	受験者数	受験率	合格者数	合格率
昭和 63 年	280,660	235,803	84.0%	39,537	16.8%
平成元年	339,282	281,701	83.0%	41,978	14.9%
平成 2 年	422,904	342,111	80.9%	44,149	12.9%
平成 3 年	348,008	280,779	80.7%	39,181	14.0%
平成 4 年	282,806	223,700	79.1%	35,733	16.0%
平成 5 年	242,212	195,577	80.7%	28,138	14.4%
平成 6 年	248,076	201,542	81.2%	30,500	15.1%
平成 7 年	249,678	202,589	81.1%	28,124	13.9%
平成 8 年	244,915	197,168	80.5%	29,065	14.7%
平成 9 年	234,175	190,131	81.2%	26,835	14.1%
平成 10 年	224,822	179,713	79.9%	24,930	13.9%
平成 11 年	222,913	178,384	80.0%	28,277	15.9%
平成 12 年	210,465	168,094	79.9%	25,928	15.4%
平成 13 年	204,629	165,104	80.7%	25,203	15.3%
平成 14 年	209,672	169,657	80.90%	29,423	17.3%
平成 15 年	210,182	169,625	80.7%	25,942	15.3%
平成 16 年	216,830	173,457	80.0%	27,639	15.9%
平成 17 年	226,665	181,880	80.2%	31,520	17.3%
平成 18 年	240,278	193,573	80.6%	33,192	17.1%
平成 19 年	260,633	209,684	80.5%	36,203	17.3%
平成 20 年	260,591	209,415	80.4%	33,946	16.2%
平成 21 年	241,944	195,515	80.8%	34,918	17.9%
平成 22 年	228,214	186,542	81.7%	28,311	15.2%
平成 23 年	231,596	188,572	81.4%	30,391	16.1%
平成 24 年	236,350	191,169	80.9%	32,000	16.7%
平成 25 年	234,586	186,304	79.4%	28,470	15.3%
平成 26 年	238,343	192,029	80.6%	33,670	17.5%
平成 27 年	243,199	194,926	80.2%	30,028	15.4%
平成 28 年	245,742	198,463	80.8%	30,589	15.4%
平成 29 年	258,511	209,354	81.0%	32,644	15.6%
平成 30 年	265,444	213,914	80.6%	—	—

※平成 30 年は速報値。

3. 試験対策

- ①資格取得の目的は？
- ②本試験までのスケジュールの考え方
(アスリートになったつもりで・・・)
- ③科目ごとの学習法
- ④受験経験回数に応じた学習法
- ⑤過去問の重要性

4. エル・エーの講座の学習方法について

①学習の進め方

インターネットで講義を受講（予習は必要ありません）

↓
※インターネットでの受講ができない方には、オプション（別料金）でDVDをお送りすることが可能です（詳しくはパンフレットをご参照ください）。

↓
「過去問題」にチャレンジ

↓

「科目別復習答練」実施

②教材

- ・メインのテキストと問題集は、市販の書籍です。
- ・講義の中で、補助教材としてオリジナルのレジュメを使用する場合があります。
- ・復習ミニテスト、答練問題、オリジナルレジュメ、講義中に黒板に書いた内容を記載した「板書ノート」は、インターネット上でデータ配信となります。
※印刷物として入手したい方には、オプション（別料金）でお送りすることが可能です（詳しくはパンフレットをご参照ください）。

③個別のご質問にお答えします。

個別のご質問にもお答えいたします。メール、電話、質問カードをご利用ください。

5. エル・エーの「宅地建物取引士講座」の特色

- ①「本試験における重要箇所」の強弱が分かります。
- ②「権利関係」については、日常の言葉に置き換えられるようになります。
- ③効率的な学習方法をアドバイスします。
- ④本試験までの残り時間を有効に活用するための「時間の使い方」をアドバイスします。
- ⑤個別のご質問にも対応します。

6. 合格祝賀返金制度

2019 年度の講義を受講された方で、2019 年度の本試験に合格し、必要書類をご提出いただくと、受講代金の最大半額が返金されます。

以 上